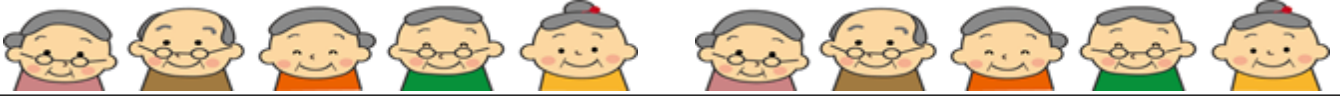


社会福祉協議会 松原地区事務局だより

まつばら



ポスト

世田谷区社協キャラクター
ココロン

令和2年11月5日(木)



松原「災害弱者支援講座」開催しました。

「在宅診療・訪問医療の現場から「看取り」を考える

～新型コロナウイルス蔓延下の在宅医療～

講師：小堀 鷗一郎先生（こほり おういちろう）

講師より

～現代日本では、本人の意思とは異なる延命や、目前に迫る肉親の死を認識しない家族の存在などもあり、患者本人が真に望む最期を実現することは非常に難しいといえます。多くの場合、病院以外での死を「例外」と捉える社会風潮の中、講師は、日々の往診の際に患者や家族と語り合い、患者自身が、そして家族が死という最期のあり方を見出し、いけるよう、真摯に向き合っています。～

現役医師として、患者の人生の最期において出来ることは何か、地域住民として認識しておくべきことは何かを、日々の訪問診察の現場から貴重なお話をいただきました。

□講師 略歴他

- 1938年、東京生まれ。
- 東京大学医学部医学科卒業。医学博士。
- 東京大学医学部附属病院第一外科、国立国際医療研究センターに外科医として約40年間勤務。
- 定年退職後、埼玉県新座市の堀ノ内病院に赴任。訪問診察医として在宅診療に携わり、355人の看取りにかかわる。うち271人を在宅にて看取った。
- 母は小堀杏奴。祖父は森鷗外。
- 著書：『死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者』



◆発行元・お問い合わせ◆

社会福祉協議会 松原地区事務局(松原まちづくりセンター内)
電話:070-3946-9795 担当:細淵(ほそぶち)・向坊(むかいぼう)





まつばら



ポスト



11月25日(水) 松原小学校 新BOP 第2回 こども福祉体験ボッチャ講座 開催しました!



今回は「車椅子」の使い方の講義後に、アイマスクゴーグル、車いすを使用してボッチャ福祉体験をしました。

ボッチャの講師には、世田谷区スポーツ推進員の皆さんをお招きし、正式なコートとルールについて学びました。

『障害のある方もない方も一緒に競技を楽しむ』を目的としたボッチャを通して、障がいについて理解するきっかけとなったのではないかと思います。

当日は23人の児童が参加してくれました。参加した子どもたちからは、「想像していた以上に身動きがとれなくびっくりした。」「障害者スポーツをまた体験をしたい」等多くの声を聞くことができました。

た。



【世田谷スポーツ推進員北沢地域のみなさん】



◆発行元・お問い合わせ◆

社会福祉協議会 松原地区事務局(松原まちづくりセンター内)
電話:070-3946-9795 担当:細淵(ほそぶち)・向坊(むかいぼう)